

がんゲノム診療：患者さんをご紹介いただく医療関係者の方へ

当センターはがんゲノム医療を提供する機能を有するとして「がんゲノム医療拠点病院」（厚生労働省による説明は[こちら](#)）に指定され、保険適用となったがん遺伝子パネル検査*を実施しております。

※ 現在、「OncoGuide™ NCC オンコパネル プロファイリング検査」「FoundationOne プロファイリング検査」の2種類を実施しております。

当該検査を希望される患者さんがいらっしゃいましたら、以下をご確認いただいた上でご紹介いただくよう、お願い申し上げます。

① 対象となる患者さん：

1. 全身状態が不良ではない。ご紹介いただいた患者さんが検査を受け、その結果説明を受けた後（検査開始から概ね3ヶ月後）に、化学療法実施可能な全身状態であると予測されること。
2. 悪性固形腫瘍と診断されている。
3. 治癒切除不能または再発の病変を有する(1)または(2)の腫瘍。
 - (1) 確立された標準的な治療法（標準治療）がない、標準治療が終了している、もしくは終了が見込まれる固形がん
 - (2) 原発不明がん

② 検査に必要な検体：

検査には、ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織または新たに生検した検体を使用します。貴施設で保管されているFFPE標本ブロックがありましたら下記の条件を満たすかご確認下さい。検査実施にあたっては、標本ブロックの貸出をお願い致します（3ページ目以降をご参照下さい）。

1. 標本が作製されてから概ね3年以内であること。
2. 組織は10%中性緩衝ホルマリンで固定されていること。
3. ホルマリン固定時間は概ね6～48時間以内であること。
4. 組織の脱灰処理を実施していないこと（EDTA脱灰を除く）。

※止むを得ずスライドガラス未染標本を提出頂く場合は、上記に加えて下記の条件を満たすかご確認下さい。

- a) 腫瘍検体サイズが25 mm² 以上あること。
- b) 浸潤細胞を含む全有核細胞のうち腫瘍細胞の割合が20%以上あること。

ご不明な点は、④へお問い合わせ下さい。なお、上記の条件を満たす検体でも、検査を実施できないことがあります。

③ 患者さんにお伝え頂きたいこと：

1. 上記2種類の検査にかかる費用はどちらも56万円で、患者さんには自己負担割合に応じてご負担いただくこと。新たな生検や診察料等は別途の負担となること。
2. これまでの実績から、検査結果に基づいた新たな治療を受けた患者さんは約10%であること。
3. 検査の結果、遺伝子に異常が見つからない場合や、異常が見つかったとしても治療に使用できる薬がない場合でも上記の検査費用をご負担いただくこと。

④ お問い合わせ先：

神奈川県立がんセンター

がんゲノム診療相談センター（がん相談支援センター）

電話 045-520-2211（直通） 平日 9時～16時